

アフリカとともに歩む50年

——社会課題解決への取り組み

ヤマハ発動機海外市場開拓事業部長

さいとう のぶひら
齊藤伸彦



ヤマハ発動機は、企業目的に「感動創造企業」を掲げ、世界の180を超える国や地域に対し、二輪車やマリンエンジン(船外機)等の販売・サービスを通じた事業活動を行っている。アフリカ市場には1960年代から進出し、現在52カ国でビジネスを展開しており、アフリカの人々の社会課題解決に直結した事業を行っている。

漁業指導から進化した アフリカ市場開拓

1970年代に入り、社員が偶然目にした漁業指導をきっかけに、船外機市場の開拓が始まった。昔ながらの木造船を手漕ぎで操り漁場に向く漁師、効率の良い漁法、加工方法のノウハウが少なく海岸に放置された魚を目的の当たりにしたのである。当社が持つ

技術に、日本式の様々な漁法・加工技術を組み合わせれば、現地漁民の安全性の向上、貧困の改善に役立つと確信し、JICA等日本政府援助案件とも協働のうえ、現地での活動を推進した。手漕ぎの船から船外機を搭載した動力船への変更により漁民の操業安全性は向上し、日本式の漁法・加工方法の伝達・普及により、漁民の収入も増加した。またFRP(強化プラスチック)製ボートの技術移転も行い、少なからず現地の社会課題解決に貢献していると考えられる。余談ではあるが、日本に輸入されるタコの多くは、当社船外機搭載艇によって水揚げされた、北部アフリカ地域からの輸入であることも付言しておきたい。

二輪車事業と新しいチャレンジ

船外機市場への参入に引き続き、二輪車事

業においてもアフリカ市場への進出を開始し、1980年代にはナイジェリアに二輪車の製造・販売会社を設立する等、経済発展において大きな課題となる人や物の移動に対しての取り組みを展開してきた。現状のアフリカ二輪車市場は、年間500万台を超える巨大市場であるが、その多くはインド・中国製が占め、ビジネスとしては大変厳しい市場である。このような市場の中、当社は新しいビジネスの在り方として、現地スタートアップとの協業やファイナンスの活用を通じ、仕事を得られない若者の就業を支援するとともに、安心・安全な二輪車文化の醸成を目指した活動を新たに展開する。

現地人材への教育

アフリカ市場において当社製品は決して安



タコ漁場での船外機サービス教習活動
(モータニア)

価ではなく、現地では60kgを超える船外機を毎日、船から外して自宅などへ担いで持ち帰るほど大切な資産である。当社としてはお客さまに対し、安心・安全に長く製品を使用いただくことを重要視し、現地で様々な教育活動を進めている。特に現地のサービスタッフの育成には力を注ぎ、現地へ出向いてのメカニク教育、日本へ招聘しての高度な技術の移転、加えて現地人材が自らより多くのメカニクを育成できるプログラムの展開を進める。メカニクの育成は現地での就業の面にも役立ち、技術を親から子に伝えて2代に

わたって当社製品のメカニクを生業にする場合も多い。また、製品を安全に使用いただくことも当社にとって重要であると考え、二輪車の安全運転講習や、船外機の操業前点検などの教育についても、様々な場面で積極的な活動を進めている。

ユニバーサルヘルスカバレッジへの取り組み

当社のアフリカ事業展開には、保健衛生に深く関わる取り組みも含まれる。まず1つの柱としては、「ラストワンマイル」への取り組みである。アフリカの保健衛生分野には多くの課題が存在するが、その中の1つに地方での医療アクセスの難しさが挙げられる。広大な土地に点々と広がる村落では、罹患時に医療機関へアクセスすることが難しく、医薬品の不足、予防としてのワクチン接種等の展開の難しさなど様々な問題を抱える。当社の二輪車や船外機は現地政府や国連機関などの活動において、ハードな環境下でも安心して利用できる品質と現地特約店によるサービス体制の構築により、医師や看護師の移動、医薬品・ワクチン等の運搬に広く活用されている。

2つ目の柱は、「緩速ろ過浄水装置YAMAHA CLEAN WATER SYSTEM(CW)」の提供である。保健衛生分野では医療活動の重要性と同時に、衛生環境の改善が重要な課題であ

る。安全な飲み水にアクセスできない人口は極めて多く、また水の運搬や水くみは子どもや女性の仕事とされることが多いのも社会課題の1つである。当社はCWを通じ、安全な水の提供による水由来の疾患予防はもとより、水委員会の設置によるコミュニティの活性化、水の販売による経済活動、就業・就学状況の改善など、村落部での社会課題解決に寄与している。「水が変われば暮らしが変わる」を合言葉に、今後も衛生環境改善への取り組みを続けていく。

アフリカ市場との新たな50年

アフリカ市場は2000年以降、「最後の巨大市場」と言われ、様々な分野でリープフログ現象^(注)が起きている半面、抱える社会課題も、より複雑に、より大きくなっている。当社が50年にわたって蓄えてきたアフリカビジネスの知見も時代によって変化させていく必要を感じる一方で、当社が培い、現場で展開してきた活動の重要性を再認識する場面も多い。今後の新しい50年を見据え、常に「現場」を理解し、「現場」と一緒に課題を解決し、事業を通じて社会に貢献することを基本とした活動を進めていきたい。また、サッカーやラグビーなど当社ならではの草の根活動も加え、アフリカの人々とともに、豊かで喜びに満ちあふれた生活をつくり上げていく決意である。

(注)リープフログ現象：途上国が段階的な発展過程を経ることなく、いきなり最先端の技術段階に到達すること